第 23 回 尾瀬国立公園協議会（2024(令和６)年度）

日　　時：令和７年３月 10 日（月）
10：00 ～ 12：00
開催方法：対面＋ウェブ

次　　第

議事

（１）「新・尾瀬ビジョン」に基づく取組状況の総括

（２）「新・尾瀬ビジョン」の実現に向けた取組
- 尾瀬国立公園利用アクションプランの進捗状況について（尾瀬国立公園利用アクションプラン推進委員会）
- 持続可能な歩道のあり方検討について（尾瀬国立公園歩道のあり方検討会）
- 新たな利用者負担による公園維持管理手法等の検討実証について（群馬県）
- 尾瀬・日光国立公園ニホンジカ対策について（環境省）
- 会津沼田街道の魅力向上について（環境省）

（３）その他

【配布資料】

資料１－１	「新・尾瀬ビジョン」整理表 2024（概要版）
１－２	「新・尾瀬ビジョン」整理表 2024
１－３	根羽沢鉱山の観光活用について
１－４	一般社団法人尾瀬登山道整備部について
資料２－１－１	尾瀬国立公園利用アクションプランの進捗状況について
２－１－２	（参考）取組プログラムの実施状況について（一覧）
２－１－３	（参考）取組プログラムの実施状況について（個別の取組紹介）
２－２	持続可能な歩道のあり方検討について
２－３	新たな利用者負担による公園維持管理手法等の検討実証について
２－４	尾瀬国立公園におけるニホンジカ対策について
２－５－１	会津沼田街道の魅力向上について
２－５－２	（参考）会津沼田街道標識整備の具体的な箇所
参考資料	尾瀬国立公園協議会設置要綱

第23回尾瀬国立公園協議会 出席者名簿

※敬称略

	構成員	氏 名	出欠	方法	随行
1	環境省関東地方環境事務所長	神谷 洋一	出席	対面	
2	林野庁関東森林管理局計画保全部長	諏訪 実	出席	web	関東森林管理局 計画課長 杉崎 浩史 自然再生指導官 黒沢 幸一 会津森林管理署南会津支署 支署長 金子 友次 総括事務管理官 塙 栄一 総括森林整備官 櫻井 勝
3	福島県生活環境部長	細川 了	代理 自然保護課 小山勉主幹兼副課長	対面	同課副主査 北畠 恭子
4	栃木県環境森林部長	齋藤 利也	代理 自然環境課 墨谷祐子副主幹	web	同課主事 大澤 里奈
5	群馬県環境森林部長	前川 尚子	出席	対面	尾瀬保全推進室 室長 吉田 利佳(対面) 補佐 西嶋 弘満(対面) 主任 大竹 秀徳(web) 主事 川上 史歩(web)
6	新潟県環境局長	玉木 有紀子	代理 環境対策課長 鈴木邦英課長	web	同課自然共生室 室長 川口 晴男 自然保護担当 副参事 皆川 寛樹
7	檜枝岐村長	平野 信之	出席	web	観光課長 星 公二
8	南会津町長	渡部 正義	欠席		
9	日光市長	粉川 昭一	欠席		
10	片品村長	梅澤 志洋	出席	web	むらづくり観光課長 狩野 久良 同課主事 金子 友也
11	魚沼市長	内田 幹夫	代理 生活環境課 乾瑛樹主事補	web	
12	公益財団法人尾瀬保護財団	事務局長 吉田 利佳	出席	対面	
13	三井物産株式会社サステナリビティ経営推進部グローバル環境室	三井物産フォレスト株式会社業務部 戦略企画室長 鎌田 学	出席	web	三井物産株式会社サステナリビティ経営推進部グローバル環境室 細島 彩起子 三井物産フォレスト株式会社本州事業部所長補佐 小林 良太
14	東京電力リニューアブルパワー株式会社水力部水利・尾瀬グループ	グループマネージャー 甘利 修司	出席	web	同グループ 尾瀬チームリーダー 菊池 史朗 課長補佐 篠原 哲也
15	東京パワーテクノロジー株式会社	尾瀬林業事業所長 平石 忠一	出席	対面	
16	尾瀬檜枝岐温泉観光協会	事務局長 星 弘樹	出席	web	
17	南会津町観光物産協会舘岩支部		欠席		
18	一般社団法人日光市観光協会湯西川・川俣・奥鬼怒支部		欠席		
19	一般社団法人片品村観光協会	事務局長 倉田 剛	出席	web	
20	一般社団法人魚沼市観光協会	事務局長 福井 隼次	出席	web	
21	尾瀬山小屋組合 組合長	平石 忠一	出席	対面	
22	尾瀬山小屋組合 副組合長	平野 陽一	欠席		
23	尾瀬保護指導員福島県連絡協議会		欠席		
24	公益財団法人日本野鳥の会 栃木県支部		欠席		
25	片品山岳ガイド協会	宮崎 勉	出席	web	
26	新潟県自然観察指導員の会	顧問 加瀬 由紀子	出席	web	
27	公益財団法人日本自然保護協会	参与 横山 隆一	出席	web	同協会 保護・教育部長 大野 正人
28	尾瀬ガイド協会	事務局長 桂田 直樹	出席	web	
29	横浜国立大学 名誉教授	加藤 峰夫	出席	対面	
30	東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授	山本 清龍	出席	対面	

事務局

	所属	役職・氏名	方法
1	関東地方環境事務所	次長 中島 治美	対面
2	関東地方環境事務所 国立公園課	課長補佐 新村 靖	対面
3		自然保護官 後藤 俊矢	対面
4	関東地方環境事務所 檜枝岐自然保護官事務所	国立公園管理官 河邉 健	対面
5	関東地方環境事務所 片品自然保護官事務所	自然保護官 八尋 聡	対面
6		生態系保全等専門員 黒沢 秀基	web
7	公益財団法人尾瀬保護財団 企画課	企画課長 登坂 英季	対面
8		主任 宇野 翔太郎	対面

資料１－１

「新・尾瀬ビジョン」に基づく取組状況について

～「新・尾瀬ビジョン」整理表 2024（概要版）～

※「★」は議事（２）「新・尾瀬ビジョン」の実現に向けた取組事例で報告、紹介

みんなの尾瀬　～尾瀬の普遍の価値を広く発信し、尾瀬を愛する輪を広げていきましょう～

取組状況のレビュー

東京等での誘客イベント開催やインバウンド向け事業等により国内外で尾瀬のファン獲得に向けた取組が推進されている。また、尾瀬ガイド協会を母体とする登山道整備組織の設立、利用者が参加する登山道整備ツアーの造成のほか、公園全体で持続可能な歩道のあり方を検討する会の設立や、新たな利用者負担のあり方検討が始められようとするなど、多様な主体の連携による課題解決の取組が見られる。

尾瀬の普遍の価値をリアル／オンラインの両面から発信しながら、課題解決のために多様な主体の参画や資金的サポートを充実させる取組が推進されており、尾瀬を愛する輪が広がろうとしている。

具体的な取組事例

- 環境省：尾瀬国立公園利用アクションプラン推進委員会及び尾瀬国立公園歩道のあり方検討会を設立（★）
- 福島県：ふくしま尾瀬のフォトコンテストや東京でのイベント開催のほか、東武鉄道・JR 池袋駅での中吊りや駅ポスター・デジタルサイネージ等の交通広告の活用（★）
- 群馬県：県管理歩道の維持管理にかかる利用者負担のあり方検討（★）
- 檜枝岐村：インバウンド誘客に向けて韓国からのモニターツアーや韓国での商談を実施
- 尾瀬保護財団など：尾瀬関係者が協力して東京都昭島市で「尾瀬フェア」を開催（★）

みんなで守る　～かけがえのない尾瀬をみんなで守り育て、しっかりと次代に引き継いでいきましょう～

取組状況のレビュー

「尾瀬・日光国立公園ニホンジカ対策方針」の改訂作業が進められているほか、地域住民と協力した外来種駆除作業の実施など、引き続き関係者で連携した取組が推進されている。

また、会津沼田街道の歴史的な価値を再認識するための取組や、かつて栄えた根羽沢鉱山跡を尾瀬の歴史資源の一つとして観光コンテンツ化を図ることで保存・活用する取組が見られている。

尾瀬本来の生態系の維持・回復に加え、尾瀬の歴史資源を保全する取組が実施されており、かけがえのない尾瀬をみんなで次代に引き継ぐための取組が進んでいる。

具体的な取組事例

- 環境省など：「ニホンジカ対策方針」の改訂等、構成員と連携したシカ対策を推進（★）、会津沼田街道の魅力向上について検討（★）、
- 東京パワーテクノロジー(株)など：観光庁事業を活用した根羽沢鉱山跡の観光コンテンツ化

みんなで楽しむ　～自然を損なわない楽しみ方を考えながら、みんなが訪れたくなる尾瀬にしましょう～

取組状況のレビュー

木道などの利用施設の老朽化や登山道の荒廃が進んでいる中、管理者による継続的な木道の再整備等が進められると同時に、歩道管理者を中心として持続可能な歩道のあり方についての検討が開始されたほか、利用者が実際に整備に参加する登山道整備ツアーの造成、近自然工法の考え方を用いた登山道整備事業の実施など幅広い動きが見られている。

尾瀬の保護と利用の両立を図りながら、訪れた利用者が尾瀬の魅力を知り、また安全で快適に楽しめるような利用環境を整備することで、みんなが訪れたくなる尾瀬にするための取組が進んでいる。

具体的な取組事例

- 群馬県：旅行会社と連携した尾瀬登山道整備ツアーを造成（★）
- 環境省：尾瀬国立公園歩道のあり方検討会を設立　（★）
- 尾瀬ガイド協会：燧ヶ岳・長英新道や至仏山等において環境省事業として登山道整備事業を実施

新・尾瀬ビジョン整理表2024

みんなの尾瀬

凡例
達成度（自己評価）
◎…当初計画以上の取組実施、達成状況100%以上
○…当初計画を概ね達成、達成状況80-100%
△…当初計画の一部又は全部が未達成、
　達成状況80%未満
－…該当する取組がない
赤字…今年度新たな取組が行われたもの
空欄…未回答

	国		県				市町村					財団	土地所有者			観光関係者						地元団体				NGO等		具体的な取組事例
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
	環境省関東地方環境事務所	林野庁関東森林管理局	福島県	栃木県	群馬県	新潟県	檜枝岐村	南会津町	日光市	片品村	魚沼市	尾瀬保護財団	三井物産	東京電力ＲＰ	東京ＰＴ	尾瀬檜枝岐温泉観光協会	南会津町観光物産協会舘岩支部	日光市観光協会	片品村観光協会	魚沼市観光協会	尾瀬山小屋組合	尾瀬保護指導員福島県連絡協議会	日本野鳥の会栃木県支部	片品山岳ガイド協会	新潟県自然観察指導員の会	日本自然保護協会	尾瀬ガイド協会	
視点① 愛される尾瀬づくり																												
■尾瀬のファンづくり																												
・新たな利用者の獲得																												
・利用者満足度の向上によるリピーターの獲得	○	－	◎	－	○	－	○	○	－	○	○	○	－	△	○	○	○	－	○	○	○	○	－	－	－	－	◎	（福島県）ふくしま尾瀬魅力発信強化事業において、国・関係町村及び関係団体と連携し、フォトコンテストや首都圏イベントを開催 （檜枝岐村）韓国からのモニターツアーや韓国での商談を実施 （尾瀬保護財団）東京都昭島市で誘客イベント「尾瀬フェア」を開催 （魚沼市観光協会）観光庁事業を活用し、尾瀬沼へのトレッキングを含む「水」をテーマにした学び旅「うおぬま水の回廊」の商品造成を実施 （尾瀬ガイド協会）ホームページや営業による顧客の獲得
・外国人も利用しやすい尾瀬のあり方の検討																												
・障害者をはじめ様々な人のニーズへの対応																												
■尾瀬で学ぶ機会の拡大																												
・学校団体による尾瀬での環境教育の推進	○	－	○	－	○	○	○	○	－	○	○	○	－	◎	◎	○	－	－	－	○	－	－	－	○	－	－	◎	（東電RP）戸倉の森のブナの間伐作業を実施、水芭蕉プロジェクトへの参加 （東京PT）学校・団体・企業に対し、環境教育での尾瀬活用推進への取組を実施 （尾瀬ガイド協会）支部単位で、学校関連のプログラムを実施
・企業の研修など、尾瀬を活用する新たな機会の拡大																												
視点② モデルとなる尾瀬づくり																												
■先進的な取り組みの推進																												
・地球環境に配慮した取り組みの推進	○	－	－	－	○	－	－		－	○	－	－	○	○	○	－	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	－	（環境省）尾瀬国立公園歩道のあり方検討会を設立し、全国の山岳地域が抱える木道や登山道等の管理に関する課題を解決するための検討を開始 （群馬県）県管理歩道の維持管理方策等検討実証事業を実施した（全国的な共有課題・他地域の事例収集等含む）
・全国的な共通課題に対する解決策の模索																												
・他地域の成功事例の収集や応用																												
視点③ 尾瀬を育てる仕組みづくり																												
■多様な主体の参加と連携促進																												
・利用者や地域住民が管理運営に関われる機会の拡大	○	－	○	－	○	○	○	○	－	○	－	○	○	○	◎	○	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	◎	（環境省）尾瀬国立公園利用アクションプラン推進委員会及び尾瀬国立公園歩道のあり方検討会を設立 （福島県）ふくしま尾瀬魅力発信強化事業において、国・関係町村及び関係団体と連携し、フォトコンテストや首都圏イベントを開催 （群馬県）登山道整備ツアーを造成し計画どおり実施した（利用者や地域住民が管理運営に関われる機会） （東京PT）山小屋利用者・従業員アンケートを活用した業務改善の推進 （尾瀬ガイド協会）ガイド協会を母体とする登山道整備組織である、尾瀬登山道整備部を設立
・地域間が連携した一体的で広域的な取り組みの推進																												
・すでにある仕組みを有効活用した関係者の意見交換の推進																												
・利用者や企業などのサポーターによるボランティアとしての活動への支援																												
・山小屋やビジターセンターなど現場からの声を対策に活かす仕組みの構築																												
■担い手の育成																												
・尾瀬を愛する次代の獲得と育成	○	－	○	－	○	○	－	○	－	－	○	○	－	－	◎	－	－	－	－	○	○	－	－	○	－	－	◎	（東京PT）山小屋利用者・従業員アンケートを活用した業務改善の推進 （尾瀬ガイド協会）認定試験を行い新たなガイドの育成に努めている
・研修などによる知識と技術を学ぶ機会の拡大																												
■資金的サポートの充実																												
・尾瀬の維持管理に必要な資金の現状把握	○	－	－	－	◎	－	○	○	－	○	－	○	－	○	○	○	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	（環境省）尾瀬国立公園歩道のあり方検討会を設立し、不足する資金獲得のための検討を開始 （群馬県）県管理歩道の維持管理にかかる利用者負担のあり方検討や企業版ふるさと納税の寄附にかかるマッチング会への参加など、年度当初の計画にはなかった検討や取組を実施した
・利用者負担のあり方の検討																												
・活動への寄付などの呼びかけ																												
視点④ 情報の効果的・効率的な発信																												
■認知度の向上																												
・テレビや雑誌などメディアとの連携による情報の発信	○	－	◎	－	○	○	○	○	－	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	－	－	○	○	－	－	○	－	－	○	（環境省）令和7年度以降に設置予定の会津沼田街道の歴史を紹介する標識についての英文作成 （福島件）ふくしま尾瀬のフォトコンテストやJR池袋駅でのイベント開催のほか、東武鉄道・JR池袋 駅での中吊りや駅ポスター・デジタルサイネージ等の交通広告の活用 （三井物産）Discover Japan誌2024年9月号で田代山の広告記事掲載 （尾瀬保護財団）東京都昭島市で誘客イベント「尾瀬フェア」を開催 （東京PT）ホームページやフェイスブック等を活用した尾瀬情報の発信 （魚沼市観光協会）観光庁事業を活用して造成した旅行商品「うおぬま水の回廊」のプロモーション動画を作成（英語と繁体語の2言語にて）
・SNSなどのインターネットの活用																												
・情報を届けたいターゲットに応じた発信方法や発信内容の明確化																												
・歴史・伝統・文化を含めた尾瀬一帯にある多様な魅力の総合的な発信																												
■情報の提供																												
・統一的で分かりやすい情報の発信方法の検討	○	－	○	－	○	－	○	○	－	○	○	○	－	○	○	○	○	－	－	△	○	－	－	－	－	－	○	
・ウェブサイトなどでの情報公開の推進																												
視点⑤ 的確な分析																												
■基本情報の収集																												
・尾瀬の強みと弱みの分析	○	－	－	－	○	－	○	－	－	○	○	○	－	○	○	○	－	－	－	△	－	－	－	－	－	－	○	（環境省）東京大学山本清龍先生のご協力のもと尾瀬国立公園利用アクションプランの進捗管理のための各種調査を継続するとともに、新たに木道の維持や利用者負担に関する利用者意識調査を実施した。
・利用者の利用実態に関する情報の収集																												
・尾瀬を取り巻く状況の変化の把握																												

新・尾瀬ビジョン整理表2024

みんなで守る

凡例
達成度（自己評価）
◎…当初計画以上の取組実施、達成状況100%以上
○…当初計画を概ね達成、達成状況80-100%
△…当初計画の一部又は全部が未達成、
　達成状況80%未満
－…該当する取組がない
赤字…今年度新たな取組が行われたもの
空欄…未回答

	国		県				市町村					財団	土地所有者			観光関係者						地元団体				NGO等		具体的な取組事例 ※構成員から回答いただいた内容のうち、 ①達成度の自己評価が◎であった取組 ②今年度新たに行われた取組 について抜粋して記載している
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
	環境省関東地方環境事務所	林野庁関東森林管理局	福島県	栃木県	群馬県	新潟県	檜枝岐村	南会津町	日光市	片品村	魚沼市	尾瀬保護財団	三井物産	東京電力ＲＰ	東京ＰＴ	尾瀬檜枝岐温泉観光協会	南会津町観光物産協会舘岩支部	日光市観光協会	片品村観光協会	魚沼市観光協会	尾瀬山小屋組合	尾瀬保護指導員福島県連絡協議会	日本野鳥の会栃木県支部	片品山岳ガイド協会	新潟県自然観察指導員の会	日本自然保護協会	尾瀬ガイド協会	
視点① 自然豊かな尾瀬づくり																												
■これまでの取組の継承																												
・これまでの取組の継続と改善	○	－	○	－	○	－	○	○	－	○	－	○	○	◎	○	○	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	○	（東電RP）尾瀬ネイチャーセンターでの展示・解説の内容見直しや、冬の閑散期を利用した工作体験のスペース拡充を実施
・尾瀬における自然保護の歴史の継承																												
■貴重な自然環境の保護																												
・尾瀬の自然の特異性や価値への理解の促進	○	○	－	－	○	－	○	○	－	○	－	○	○	◎	○	○	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	○	（東電RP）森林計画に基づき、尾瀬戸倉の森の保育作業（下草刈り、間伐等）を実施
・人の活動が与える自然への負荷の最小限化																												
・乾燥化や樹林化から湿原生態系や景観を守るための検討																												
■植生の荒廃対策																												
・至仏山や会津駒ヶ岳を始めとする山岳地帯、尾瀬ヶ原や尾瀬沼周辺における荒廃対策の実施	○	○	○	－	○	－	○	－	－	○	－	○	－	◎	◎	○	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	◎	（環境省）燧ヶ岳、至仏山において近自然工法を用いた登山道整備事業を実施した。見晴地区に新たな植生保護柵を設置した。 （東電RP）、大清水湿原の植生回復のため下草刈り他管理業務を実施 （東京PT）アヤメ平の植生回復作業を実施 （尾瀬ガイド協会）一般社団法人尾瀬登山道整備部との協力で荒れた登山道の整備を行った
・ニッコウキスゲなど尾瀬を代表する植生の回復にむけた取組の実施																												
■外来植物対策																												
・侵入状況の把握と効果的な防除方法の検討	○	－	○	－	○	－	○	○	－	◎	－	○	－	◎	◎	○	－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	○	（片品村、片品山岳ガイド協会）尾瀬国立公園の麓の地域において、地域住民と外来植物駆除作業と草木染め体験を実施 （東電RP、東京PT）登山道入り口に設置してある種子落としマットの維持管理を適切に実施
・地域住民や企業と連携した防除活動の実施																												
視点② 歴史・伝統・文化が息づく尾瀬づくり																												
■歴史・伝統・文化の保全																												
・歴史・伝統・文化に関する地域の宝の再認識、掘り起こし、活用	○	－	－	－	－	－	○	○	－	○	○	－	－	○	○	○	－	－	－	○	－	－	－	○	－	－	○	（環境省）令和7年度以降に設置予定の会津沼田街道の標識文案作成のため、関係者に取材等を実施し、過去の文献を調査 （東京PT）観光庁事業を活用した根羽沢鉱山の観光コンテンツ化に向けた取組を実施
■新しい歴史・伝統・文化の創造																												
・それぞれの地域が持つ「強み」を活かした伝統・文化の深化、発信	－	－	－	－	－	－	○	○	－	○	－	－	－	－	－	○	－	－	－	△	－	－	－	△	－	－	－	
視点③ 野生動物との軋轢の解消																												
■ニホンジカによる被害の低減																												
・科学的知見に基づく総合的なシカ管理方針の作成	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎	○	－	○	○	○	○	○	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	（環境省、林野庁、各県、各市町村、東電RP、山小屋組合、尾瀬保護財団）尾瀬・日光国立公園ニホンジカ対策広域協議会において、尾瀬・日光国立公園ニホンジカ対策方針の改訂を行い、これまで得た科学的知見等をもとに数値目標の設定や優先防護エリアの再評価等を実施する予定。これまでの捕獲・植生保護の取組を継続するとともに、見晴地区に新たな植生保護柵を設置した。
・優先して守りたいエリアマップの作成																												
・効果的な防除対策や捕獲手法の確立																												
・効果検証のためのモニタリング手法の確立																												
・広域連携による越冬地での捕獲の強化																												
・捕獲したニホンジカの有効活用																												
■ツキノワグマとの共存																												
・ツキノワグマの生態や対応方法についての利用者への普及啓発	○	－	○	◎	○	○	○	－	○	○	－	○	○	○	○	○	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	○	（栃木県）クマによる人身被害防止のチラシの配布や、小中学生を対象としたクマの生態普及啓発事業を実施
・巡視やクマ鐘の設置などの遭遇事故防止対策																												
■新たな獣害への対応																												
・研究者や猟友会からの動向の確認と関係者間の情報共有	○	－	○	◎	○	－	○	－	○	○	－	－	○	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	（栃木県）ニホンジカの定着に伴う被害が懸念される、福島茨城栃木県境地域における生息状況調査と捕獲を実施
視点④ 科学的知見に基づく保全																												
■調査研究の促進																												
・保全活動の計画や実施に必要な科学的知見の収集と活用	○	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	△	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
・研究者と公園管理者の情報共有や意見交換の推進																												
・継続可能な自然環境モニタリングシステムの構築																												

新・尾瀬ビジョン整理表2024

みんなで楽しむ

凡例
達成度（自己評価）
◎…当初計画以上の取組実施、達成状況100%以上
○…当初計画を概ね達成、達成状況80-100%
△…当初計画の一部又は全部が未達成、
　達成状況80%未満
－…該当する取組がない
赤字…今年度新たな取組が行われたもの
空欄…未回答

	国		県				市町村					財団	土地所有者			観光関係者						地元団体				NGO等		具体的な取組事例
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	※構成員から回答いただいた内容のうち、①達成度の自己評価が◎であった取組 ②今年度新たに行われた取組 について抜粋して記載している
	環境省関東地方環境事務所	林野庁関東森林管理局	福島県	栃木県	群馬県	新潟県	檜枝岐村	南会津町	日光市	片品村	魚沼市	尾瀬保護財団	三井物産	東京電力ＲＰ	東京ＰＴ	尾瀬檜枝岐温泉観光協会	南会津町観光物産協会舘岩支部	日光市観光協会	片品村観光協会	魚沼市観光協会	尾瀬山小屋組合	尾瀬保護指導員福島県連絡協議会	日本野鳥の会栃木県支部	片品山岳ガイド協会	新潟県自然観察指導員の会	日本自然保護協会	尾瀬ガイド協会	
視点① 魅力あふれる尾瀬づくり																												
■尾瀬の魅力向上																												
・地域の宝について学び再発見する機会の拡大	○	－	○	－	○	－	○	○	－	○	○	－	－	△	○	○	－	－	－	○	○	－	－	○	－	－	○	（環境省）令和7年度以降に設置予定の会津沼田街道の歴史を紹介する標識についての英文作成を行った （魚沼市観光協会）魚沼市制施行20周年事業「魚沼市八十八景」の一つに「尾瀬」が選出され、冊子の作成やパネル展示を実施
・新たな視点による地域の宝の発掘																												
視点② 幅広い楽しみ方の検討																												
■多様な利用方法の検討																												
・新たな尾瀬の楽しみ方の検討や意見交換	○	－	－	－	－	－	○	－	－	○	－	○	－	○	○	○	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	○	（環境省）尾瀬国立公園利用アクションプラン推進委員会を設立し、新たな楽しみ方の検討も含めた尾瀬の利用促進ための議論を行った
・地域特性に応じた残雪期や冬期利用のあり方の検討																												
■エコツーリズムの推進																												
・質の高い認定ガイドなどエコツーリズムに関わる事業者の育成	○	－	○	－	○	－	○	－	－	○	○	○	－	－	○	○	－	－	－	○	○	－	－	－	－	－	◎	（群馬県）旅行会社と連携して、認定ガイドが指導する登山道整備ツアーを造成し計画どおり実施した （魚沼市観光協会）観光庁事業を活用し、尾瀬沼へのトレッキングを含む「水」をテーマにした学び旅「うおぬま水の回廊」の商品造成を実施 （尾瀬ガイド協会）認定ガイドによるツアーの実施、群馬県と連携した登山道整備ツアーの造成
・地域の宝を活かした尾瀬ならではの旅行商品や体験プログラムの作成																												
・認定ガイド利用を促進する仕組みの構築																												
・旅行エージェント等と連携したエコツーリズムの促進																												
■地域における利用の役割分担																												
・地域特性等に応じた、対象とする利用者層や利用スタイルの提案	○	－	－	－	○	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	（環境省）尾瀬国立公園歩道のあり方検討会を設立し、利用者層に合せた歩道施設の最適化（木道の撤去等）のための検討を開始した （群馬県）県管理にかかる歩道維持管理方策等検討実証事業において、歩道の最適化検討を計画どおり実施した（利用施設のあり方検討）
・利用者層や利用スタイルに応じた利用施設のあり方の検討																												
■滞在型・周遊型利用の促進																												
・尾瀬を楽しむモデルコースの提案	○	－	○	－	－	－	○	－	－	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	○	○	－	－	△	－	－	◎	（尾瀬ガイド協会）群馬県と連携した登山道整備ツアーの造成 （魚沼市観光協会）観光庁事業を活用し、尾瀬沼へのトレッキングを含む「水」をテーマにした学び旅「うおぬま水の回廊」の商品造成を実施（山小屋への宿泊含む）
・朝夕や星空など泊まらないと体験できない魅力の発信																												
・季節や場所ごとの魅力の発信による利用の分散化																												
視点③ 楽しむための土台づくり																												
■安全対策																												
・事故や遭難を防止するための危険箇所の整備や利用者への普及啓発	○	－	○	－	○	－	○	○	－	○	○	○	－	◎	◎	○	－	－	－	○	○	－	－	○	－	－	○	（環境省）竜宮～見晴間の木道の応急的な修繕工事を実施した （福島県）燧ヶ岳登山線上の階段及び三条の滝展望デッキへアクセスする通路部について、応急的に改修を実施した （東電RP）尾瀬ネイチャーセンターでの展示・解説の中で、尾瀬登山・散策における安全に対する心構えを来所者へ提供・啓発 （東京PT）老朽化した木道の計画的な取替や転倒防止の滑り止め板の取付を行った
・事故や遭難情報の収集と共有																												
・救助体制の整備や今後のあり方の検討																												
■施設の整備																												
・荒れた登山道や標識類などの整備	○	－	○	－	○	－	○	○	－	○	○	○	－	◎	◎	○	－	－	－	○	○	－	－	◎	－	－	◎	（環境省）尾瀬国立公園歩道のあり方検討会を設立し、木道整備における長寿命化やトータルコスト低減のための検討を開始した （東電RP）木道の整備および管理、トイレ施設の管理を適切に実施し、各種検討会に参画することで木道の長寿命化のための情報収集を行った （東京PT）滑り止め板の代替物としてゴムマットを設置した （片品山岳ガイド協会、尾瀬ガイド協会）燧ヶ岳、至仏山等での登山道整備（環境省事業）や、大清水～尾瀬沼の木道の撤去等（群馬県事業）を実施
・長寿命化などトータルコスト低減の検討や実施																												
・道の駅など既存施設の情報発信拠点としての有効活用																												
■ルール・マナーの検討と普及啓発																												
・携帯電話などの通信端末やドローン、冬期利用についてのルールの検討	○	－	○	－	－	－	－	○	－	○	○	○	－	◎	◎	－	－	－	－	△	○	－	－	－	－	－	○	（東電RP）尾瀬ネイチャーセンターでの展示・解説の中で、尾瀬登山・散策におけるルール・マナーについて来所者へ提供・啓発、尾瀬でのマナーについて書かれたパンフレット「尾瀬　入山にあたって」を配付 （東京PT）トイレチップ協力金の呼びかけの看板を多言語標記で表示した
・尾瀬を楽しむ上でのルール・マナーの普及啓発																												
・入山口やインターネットでを活用した入山前後における普及啓発																												
■望ましい交通アクセスの検討																												
・滞在型や周遊型利用の促進を意識したアクセスのあり方の検討	○	－	－	－	○	○	○	○	－	○	○	○	－	○	○	○	－	－	－	○	○	－	－	－	－	－	○	（新潟県）魚沼から行く尾瀬ルート国道352号バス運航の障害となる洗い越し2か所を改築し、段差を解消した。魚沼インターチェンジへの名称変更（小出ICからの変更）に伴い、道標の標記改善を行った。
・利用者が少ない地域へのアクセスの向上																												
・尾瀬と他の地域を結ぶアクセスの連携強化																												
・分かりやすくて利用しやすい案内や誘導																												

【楽しむ】

根羽沢金鉱山の観光活用について

東京パワーテクノロジー株式会社 尾瀬林業事業所
平石 忠一

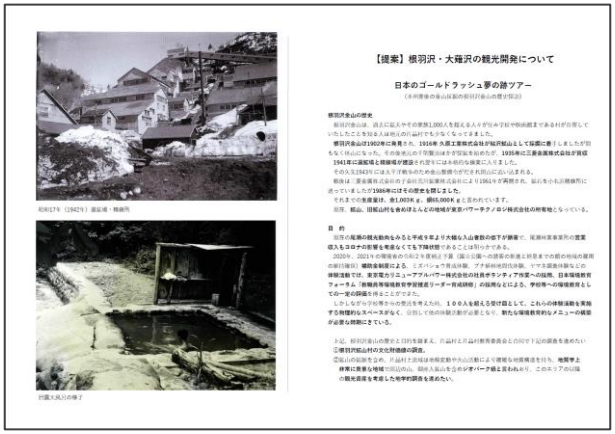
ねばざわ廃坑調査隊
朝倉 早也輝

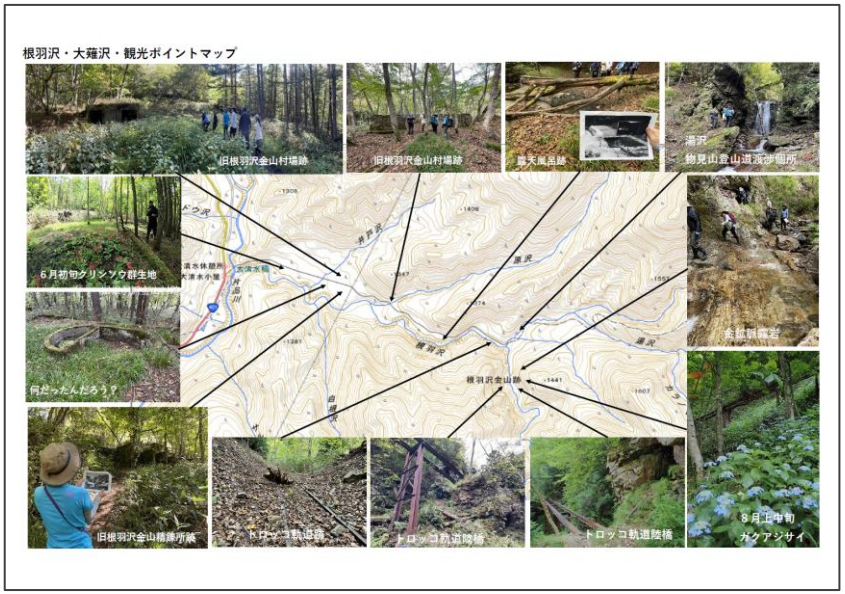
根羽沢金鉱山跡の観光活用について

根羽沢金鉱山跡の観光活用への経緯

1. 資源化への取り組みについて

根羽沢金鉱山跡を観光資源化する取り組みを検討していた





2．観光庁補助金を活用してのコンテンツ化事業の実施

■事業で実施していること

1. 根羽沢鉱山跡探検ツアーの造成
- ルートの選定と整備
- ツアー内容の検討
- ガイド資料の作成
- 受け入れ体制の整備

2. ガイド育成に向けた勉強会の実施
- 12/11（水）、2/12日（水）

3. 現地視察会実施
- 11/14（木）

4. 販売チャネルの整備
- PR動画作成
- 募集HPの作成

■事業実施体制図

ねばざわ廃坑調査隊

■組織の概要

組織名称：ねばざわ廃坑調査隊(N.S.T)
設　　立：2018年
人　　員：8名

組織概要：根羽沢鉱山解明の為、尾瀬高校生徒(当時)の
22期生を中心に結成した組織。
現在に至るまであらゆる手段を用いて根羽沢鉱山
に関する情報の収集、現地調査等を行う。
情報保全の観点から、鉱山の観光地化が決まった
2024年まで一切の情報を秘匿していた。

Nebazawa Abandoned Mine Survey Team

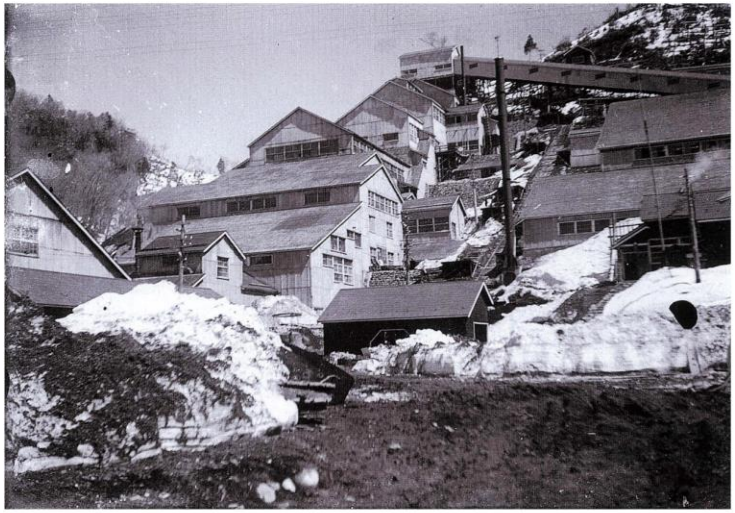
■組織の目的

- 根羽沢鉱山の現地調査完遂
- 根羽沢鉱山の情報調査による歴史的全容解明
- 根羽沢鉱山の現存遺構解明

- 根羽沢鉱山に関する情報の開示
- 根羽沢鉱山を後世に残す活動(観光地化)
- 関係機関との協力

ねばざわ廃坑調査隊

■根羽沢鉱山について



- 片品村最大、本州最後の金山のひとつ
- 84年の歴史を持つ
- 国内最大級の露頭が見られる
- 何故か情報が殆ど残っていない
- 戦時はゴールドラッシュに沸いた大鉱山(三菱資本)の一つ
- 1000人が暮らす巨大な鉱山街が存在した
- 歴史的探求も現地調査もされず、忘れ去られる一歩手前

このままでは歴史が失われる

Nebazawa Abandoned Mine Survey Team

■根羽沢鉱山の街(再現図)

・かつて根羽沢に存在した街と、巨大な鉱山に心酔し、解明に全人生を懸ける事を決意。

・観光地化に伴う協力要請に応じ、7年間隠し続けてきた全ての情報を共有。

最終目標「歴史の継承」へ

根羽沢金鉱山跡の観光活用について

観光庁事業の実施内容

■事業目的　・尾瀬地域の新しい文化的誘客コンテンツとして根羽沢金鉱山の活用を促進
・かつて地域にあった根羽沢金鉱山の保存と伝承（散逸する資料の収集と整理保存）

1．現地視察会の実施

■11月14日(木) 参加34名
・現地視察
・ガイドセミナー
・意見交換会

2．勉強会とワークショップの実施　第1回：12/11（水）、第2回：2/12（水）

■第1回　実施内容
・根羽沢金鉱山に関する勉強会
・ガイド実施に向けたワークショップ

■第2回　実施内容
・鉱山町居住者の証言
・前回ワークショップからのコンセプト提案

3．報道

【上毛新聞】11/8（金）
朝刊一面 記事掲載

THE JOMO SHINBUN
JTBと片品村など協力
金鉱山跡〝探検〟ツアー
来年度、本格販売
歴史の伝承も狙う
上毛新聞
11月8日

【上毛新聞】11/15（金）
朝刊一面 記事掲載

〝鉱山街〟全盛期に思い
展示入れ替え 再整備

【電気新聞】11/21（木）
記事掲載

金鉱山遺構を観光資源に
来年GW明け ツアー開催目指す

【読売新聞】12/1（日）
記事掲載

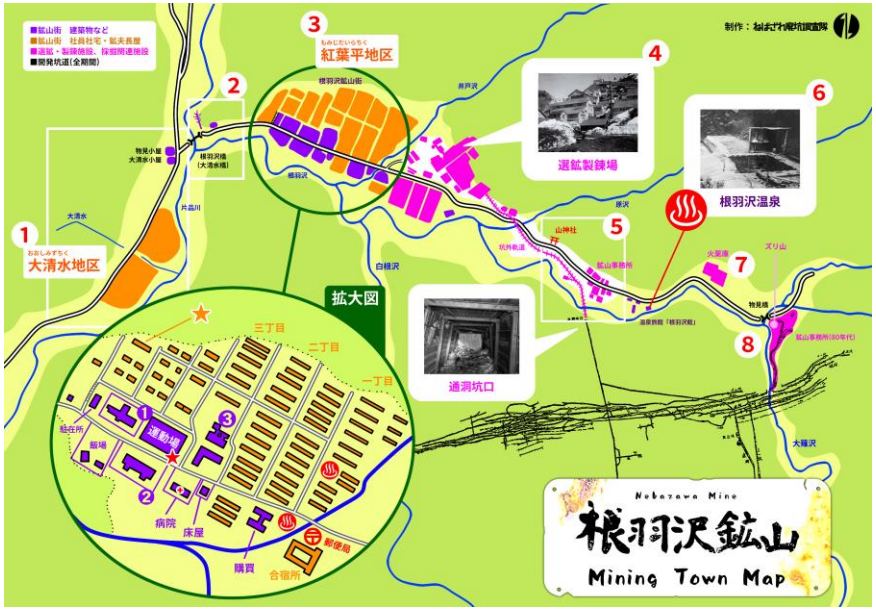
根羽沢鉱山跡 観光資源に
遺構たどるツアー企画
片品村など

根羽沢金鉱山跡の観光活用について

今後について

1. コンテンツ造成について

2月～4月：
・コンセプトに沿ったツアーの詳細の決定
・販売チャネルの準備
5月：
・村民や関係者を対象にした本番環境でのモニターの実施
6月：
・ツアー最終調整
・募集開始
7月：
・募集ツアースタート



2. 根羽沢金鉱山跡の観光活用について

・今後の根羽沢の観光としての活用方については、コンテンツのブラッシュアップなどを中心に現在検討中

一般社団法人尾瀬登山道整備部について

１．概要

令和６年４月１５日設立

理事長　桂田 直樹
理　事　伊津野 道也、館山 美和、小林 慎治、片柳 圭介
監　事　石塚 照久、星野 正昭、斉藤 敦

入会希望社員
　年会費１万円（理事会の審査有、尾瀬ガイド協会に属していること）

２．目的

（１）登山道や歩道の調査及び整備
（２）森林・里山での林業活動
（３）関連製品の販売
（４）ガイドや整備活動ができる人材の育成と手配
（５）整備やレクチャーに関するイベントやツアーの開催
（６）登山や登山道整備やガイドに関する啓発活動・講演・書籍発行等
（７）地域間交流
（８）災害支援活動
（９）その他この法人の目的を達成する事業

作業前①

作業後①

作業前②

作業後②

令和６年度燧ヶ岳・長英新道での施工事例